

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 岡山市立角山小学校

(※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒709-0615

岡山県岡山市東区才崎389番地

E-mail [tunoyamas@city-okayama.ed.jp](mailto:tunoyamas@city-okayama.ed.jp)

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~tunoyamas/>

幼児児童生徒数 男子 23 名 女子 16 名 合計 39 名  
幼児・児童・生徒の年齢 7歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「地域に生きる～あいらぶ つのやま～」を活動テーマとして、ESDの実践を通して、児童が角山地域のよさを知り、よりよい地域にしていきたいという気持ちを育み、地域社会だけに限らず、持続可能な社会作りへ参画・貢献できる市民の育成を目標とした。

具体的には、①環境に係わる活動、②防災に係わる学習、③健康福祉に係わる学習を行った。

### ① 環境に係わる活動

5月28日中学校区クリーン作戦で、地域の方や職員、児童、保護者らが協力して学区の道路などの掃除を行った。児童は、日ごろは目を留めない道端に多くのごみや空き缶などが捨てられている現実には気づき驚いていたが、何とかしようと一生懸命ごみを拾っていた。自分たちが地域の環境を守らなく

てはという意識を育むことができたように思う。

また、地域の方の水田をお借りして、高学年は地域の農業の中心である稲作についての学習をし、全校で田植えや稲刈りの活動をした。

## ② 防災に係わる学習

10月13日地域防災訓練で、公民館の方に来ていただき、災害時の水の確保について考えたり、身近にある水の運搬に使えるものを作ったりする体験をした。水害の多い地域であることを学び、自分でもできそうなことを実践する力をつける一助となった。

## ③ 健康・福祉に係わる学習

身体が不自由なことについて関心を持ち、福祉について調べ学習を進めた。また、地域の老人ホームを訪ねて高齢者の方に接し、願いを聞いたり交流計画を立てたりすることで、自分ができそうな取組について考えていった。



① クリーン作戦



② 地域防災訓練



③ 高齢者施設訪問

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(休日 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

5・6年生の社会科で、稲作に関する本多数。  
3・4年生の国語で福祉に関する本多数。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

主に総合的な学習の時間を中心に実践しているが、健康・福祉についての学習は国語（4年「目と心で読む」）としても位置づけた。道徳では、思いやり・親切、勤労・公共の精神、生命尊重、国や郷土を愛する態度などに関連を持たせた指導を行った。生活科（米作り体験）や特別活動（地域防災訓練）の時間としても位置づけている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域の方と日常的に連絡を密にし、活動時期に合わせた予定を計画的に立てられるようにしている。3学期にお世話になった方々を招待して、感謝を込めて学んだことを発表し聞いていただく場を設けている。また、縦割り班を作り、全校児童で行うことが多いため、担任同士で連絡調整を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

岡山市の教育に関する総合調査の項目のうち、今住んでいる地域や岡山市の自然・歴史の関心があるかどうかに着目して、児童の意識を確認するようにしている。その結果、岡山市の他の地域に比べて、地域への関心が高いことが伺える。今後はいっそう地域の環境や防災など、地域に目を向けた学習が展開されるようにしていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

年に1回ボランティア交流会で、ESDについての説明と、子どもが地域から学んだことを発表する機会を持ち、地域住民への発信としている。地域住民からは、子どもたちに期待する内容のコメントをいただいている。地域協働学校運営協議会、中学校区での連絡会において、アンケート結果を報告している。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域のコミュニティと共同で行う活動が多い。合同運動会、クリーン作戦、地域振興祭りの中に学習発表会を共催するなど、児童と地域住民とが共に活動する機会をできるだけとるようにしている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特に行っていない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

お世話になった方々を招いての交流会をし、学んだことを発表することで、地域の方たちに学校の取り組みについて理解していただき、交流を深めていくことができた。また、児童一人ひとりに接していただくことで、地域みんなで子どもを育てていく土壌になった。

児童にとっては、地域の人との関わりを通して、実践的行動力が育ってきただけでなく、よりよいコミュニケーション力も育ってきた。さらに自分たちの地域をよくしていきたいという態度が見受けられるようになった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

今年度の活動に加え、高学年では、地域の史跡や古墳を見て回り、歴史に詳しい地域ボランティアの説明を聞いて、地域の人や歴史・文化との関わりを大切にしたい体験活動を予定している。